

# 和泉葛城山

【葛城第九経塚(嶺の龍王)】  
【葛城第十経塚(大威徳寺)】

## 天然記念物のブナ林に覆われた山頂にたたく経塚と、紅葉の名所で知られる牛滝山

山頂部のブナ林が、この標高では南限域にあることから天然記念物に指定されている和泉葛城山。山頂には雨乞い信仰に篤い高麗神社が祀られ、葛城第九経塚が建つ。登山道はいくつかあるが、登拝道の趣がある塔原からの登山道で登り、ハイキングコースで人気のある地蔵さん登山道を下って、第十経塚のある牛滝山大威徳寺を訪れる。

塔原バス停には、近畿自然歩道の案内板があるので、およそのコースの概念を頭に入れておこう。山の手に進むと道はコンクリート敷に変わり、新旧の石標がある分岐に着く。ここから右の登山道に入る。道は尾根伝いに高度を上げていく。燈籠跡のある枇杷平を過ぎると、やがて舗装路を横切る。ひと登りすると再び道路に出て、しばらくは舗装路歩きとなる。道標にしたがい右に派生する道に入るとブナ林の説明板がある。再び登山道となって周囲がササに包まれ始めると鳥居があり、その先に続く階段を登ると山頂だ。高麗神社と経塚にまわり、そのまま和歌山県側に下るとすぐに道路に出る。展望を楽しみたいのであれば、山頂で右に折れると大阪湾を一望する円形の展望台がある。

道路を左にとり、トイレを過ぎた交差点で左の道を下っていこう。30分ほど下ると二十一丁地蔵があり、ここから道路を外れ、地蔵さん登山道へ。点々と路傍に鎮座する丁石地蔵に見送られながら下り、道路に出たら左へ。七丁地蔵のあるところを右に下って溪流に下り立ち、錦流の滝やノ滝を観瀑しながら紅葉の名所で知られる牛滝山大威徳寺に向かう。

第十経塚は山門手前左の梵字岩がそれとされている。山門を出てしばらく行くと牛滝山バス停がある。バスの時間までたっぷりあるようなら、少し歩いて牛滝温泉で汗を流して帰路についてもいい。

歩行距離 ◆ 約8km  
歩行時間 ◆ 3時間35分

体力レベル ★★  
登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

## コース情報



塔原道の中腹にある枇杷平。燈籠の名残が残る



地蔵さん登山道では丁石地蔵が点々と見守る

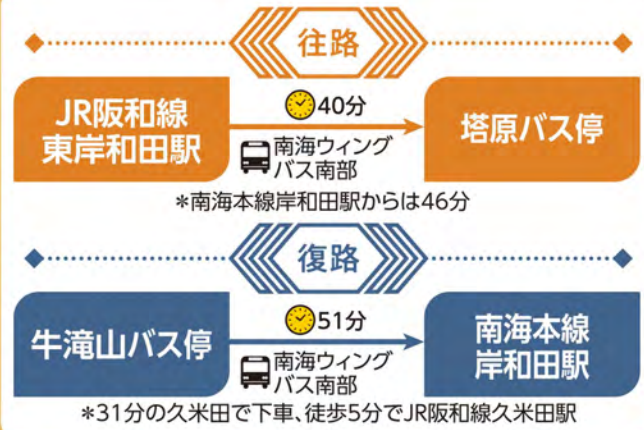


和泉葛城山山頂の展望台からは大阪湾を一望



紅葉の名所として有名な大威徳寺。多宝塔は重文

## アクセス



## アドバイス

本コースは登山となるのでトレッキングシューズで臨もう。人気のある山だけに、道標はよく整備されているので迷うところはない。行き帰りのバスは便数が少ない。事前確認を。なお、2021年現在、地蔵さん登山道は、並走する道路崩落のために、大事をとって通行止めの措置が取られている(2022年4月復旧予定)。